

## 高校生活お疲れ様でした。そして、さようなら。

いよいよ、明日は「卒業式」です。この3年間君達とともに生活をしてきました。良い事も悪い事も全てひっくるめて過ごしてきた3年間だったような気がします。1番最初の学年集会で叱られたF君達もう卒業ですか。早いものです。思えば学年集会を沢山したような気がします。何か事ある度に集合させて「説教」をしたような気がします。私なりに「3年間」のビジョンを持って君達に接してきたし「教育」させて？もらったつもりです。しかし、君達にとっては嫌なこともあっただろうし、つまらないと思ったことも数多くあったのではないかと反省もしています。

1年生では、持ち物の記名指導から服装容儀、挨拶の仕方まで色々な事を君達に注文してきました。特に「服装容儀」に関しては厳しく指導してきたように思います。2年生では「自主性」を重んじて自らで進んで活動していくというのを掲げて君達には動いてもらいました。3年生では受験を睨んで2年次の「自主性」を更に発展させていくという姿勢を醸成してほしいとお願いしました。そうした中でも、2年次では「新型インフルエンザ」に恐怖を覚えながらの修学旅行、3年次では「口蹄疫」の影響を受け、部活動の制限を受けたりしながらの高校総体でした。そして3年最後の年では創立「90周年」記念式典も迎えました。本当に苦しみながらも楽しく変化に富んだ3年間でした。今、受験に関しては現在進行形で何とも「評価」し難いところもありますが、最後の最後まで粘ってくれるものだと信じています。

私は学年の責任者として過ごしてきましたが、勿論1年から3年生まで君達を指導して下さった(主に担任の)先生方のご指導や協力、力添えがあったからこそ、ここまでこの学年を引っ張ってこれたのだと思います。数学のM先生・Y先生(1～3年担任)、英語のK先生(1～3年担任)、化学のH先生(1～2年担任)、物理のT先生(3年担任)、そして、部活動・各教科の先生方、校長先生や教頭先生(共に3年生の授業もして頂きました!)まで含めると沢山の先生方に見守られながら、君達は成長してきました。よく考えれば、先輩方や後輩達や両親や親戚の人々に見守られながら成長してきたのだとも思います。色々な人に温かく見守られながら高校生活を送ってきたのだと感ずることが出来るのではないのでしょうか。

こうして3年間の振り返ると話は尽きませんが、明日君達は母校「日南高校」を卒業していきます。この3年間の「体験」は決して無駄ではありません。それどころか「人生の礎」となるのではないかと思います。私もこの学年、君達と一緒に過ごせたことを幸せに感じているところです。まだまだ君達の人生は始まったばかりです。前をしっかりと向いて歩いて行きましょう。でも、何か寂しかったり悩んだりしたときには、話をしに来てください。待っていますよ。

3年学年主任 N・K

